

確定拠出年金説明会 Q&A

(2021 年 4 月 16 日合同オンライン部会)

回答者：

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室 担当マネージャー
妻鹿 華代子（めが かよこ）様

Q1.

iDeCo（個人型）で現在 2.3 万／月の掛け金をしている。企業型が導入され、個人型と企業型で併用となると、iDeCo（個人型）は 2 万／月に減額となるのか？

また、そうなった場合は自身で iDeCo（個人型）に申請する必要があるのか？

A1.

法令上上限額が定められている為、認識の通り iDeCo（個人型）は 2 万円に変更となる。
加入している iDeCo（個人型）に連絡をし、「会社が企業型を導入した。変更手続きの書類を取り寄せたい」といった旨を伝え、手続きをする必要がある。

なお 50 歳以上の方は企業型に入らないという選択も可能。

Q2.

以前、企業型の確定拠出年金に加入、その後個人型へ移行した。7 月以降の選択肢は？

A2.

個人型と企業型併用でも可。企業型にまとめるのも可。

Q3.

マッチング拠出の利用は可能か？

A3.

マッチング拠出の利用は無し。法令上、「マッチング拠出」or「企業型と個人型の併用」いずれかの選択となる。

マッチング拠出の場合は、企業の掛け金＝個人の掛け金となり個人の積立上限が下がる（3 年未満 3000 円／月、3 年以上 10 年未満 5000 円／月、10 年以上 10000 円／月）その為、銀河グループでは「企業型と個人型の併用」を選択している。

Q4.

原則会社が管理費用を負担とあるが、個人で支払う手数料や信託料はいかほどか？

また個人支払いの管理費用がある場合、信託報酬 0.5%未満になるパッシブの商品はどれか？

A4.

60 歳以上で口座に残高を残している場合は、自身で管理費用等の負担が必要。その際は 4000 円／年間程。信託報酬 0.5%未満になるパッシブ商品は配布資料（説明会資料）に掲載。

Q5.

パッシブ商品、アクティブ商品、それぞれどのような特徴の商品であるのか？

A5.

設定されたベンチマーク（運用時の基準値）が市場の平均値（トピックス）に連動するように運用するのがパッシブ、市場の平均値を上回る投資信託をするのがアクティブ。アクティブは調査費用が発生する為、信託報酬が高め。パッシブはリーズナブル。この辺の説明は 6 月に予定している投資教育の実施（動画）で案内予定。

Q6.

現在 SBI の iDeCo を利用している（手数料安）60 歳以降に移行する事は可能か？

A6.

可能。